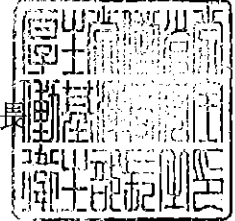




基安発 1 1 1 5 第 2 号
平成 2 3 年 1 1 月 1 5 日

社団法人日本建設業連合会会長 殿

厚生労働省労働基準局安全衛生部長



平成 2 3 年度「『見える』安全活動コンクール」の実施について

労働安全衛生行政の推進につきましては、平素より格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省では、事業場の安全活動の活性化を目的として、平成 2 3 年 4 月に取りまとめた「安全から元気を起こす戦略」に基づき、平成 2 3 年度「見える」安全活動コンクールを実施することとし、本コンクールの活性化を図るため、平成 2 3 年 1 1 月 1 5 日付けで報道発表（別添 1）を行ったところです。

本コンクールの円滑な実施のため、貴団体においても、下記のとおり御協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 ホームページ上での周知

貴団体のホームページ内に「『見える』安全活動コンクール」特設ページ及び厚生労働省の報道発表ページへのリンクを設定し、厚生労働省が「あんぜんプロジェクトにおいて「『見える』安全活動コンクール」を実施中である旨を周知すること。

「『見える』安全活動コンクール」特設ページ

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/index.html>

厚生労働省報道発表ページ

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2011/11/h1115-1.html>

2 リーフレットを活用した周知

「あんぜんプロジェクト」及び「『見える』安全活動コンクール」に係る周知用のリーフレット（別添 2）を作成し、「あんぜんプロジェクト」ホームページ上に掲載しているの、傘下団体及び賛助会員等に対して、当該リーフレットを活用して、「あんぜんプロジェクト」への参加や、コンクールへの取組事例の応募・投票への呼びかけを行うこと。

リーフレット掲載ページ

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/leaflet.pdf>

報道関係者 各位

平成 23 年 11 月 15 日 (火)

【照会先】

労働基準局安全衛生部安全課

課長 田中 正晴

主任中央産業安全専門官 野澤 英児

課長補佐 丹羽 啓達

(代表電話)03(5253)1111 (内線 5481)

(直通電話)03(3595)3225

平成 23 年度「『見える』安全活動コンクール」を実施

～労働災害防止のための「見える」安全活動を 11 月 15 日から募集します！～

厚生労働省では、労働災害防止のため、企業や事業場で実施している創意工夫事例を募集し、広く国民からの評価・投票で優良事例を決める「『見える』安全活動コンクール」を実施します。

これは、本年 4 月に取りまとめた「安全から元気を起こす戦略」のうち、『戦略 2 企業の安全活動の活性化を支援』の一環として実施するもので、安全活動の「見える」化への取り組みを活性化することを目的としています。

安全活動の「見える」化とは、労働災害に対する認識を従業員が共有し、それぞれの職場での危険予知に役立てるための、目に見える形での取り組みを言います。

11 月 15 日 (火) から、以下のとおり、取組事例を募集します。応募された事例は「あんぜんプロジェクト」のホームページ (<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/>) に掲載し、平成 24 年 1 月 23 日 (月) ～ 2 月 24 日 (金) の間に実施する投票の結果に基づいて、優良事例を 3 月下旬に発表する予定です。奮ってご参加ください。

1 趣旨・目的

平成 22 年の労働災害による死亡者数は 1,195 人と前年に比べて 120 人増加 (+11.2%) し、平成 11 年以来、11 年ぶりに、それも大幅な増加に転じ、休業 4 日以上の死傷者数も 107,759 人と前年に比べて 2,041 人増加 (+1.9%) しています。また、建設業では、約 6 割の企業が、最近の厳しい経営環境により安全衛生管理活動に支障を来しているまたは後退しているとするなど、企業の安全への取り組みはその足元が危うい状態にあります。

こうした状況の中、平成 23 年 4 月に緊急に取りまとめた「安全から元気を起こす戦略」では、その戦略の 2 として『企業の安全活動の活性化を支援』を掲げています。

これを実現していくための取り組みの1つとして実施する「『見える』安全活動コンクール」では、職場の安全活動の中で、危険認識や作業上の注意喚起を分かりやすく周知でき、また、一般の労働者も参加しやすい活動である安全活動の「見える」化について、取組事例を募集、公開し、広く国民から投票を募り、優良事例を決定します。これにより事業場の安全活動の「見える」化への取り組みを活性化することを目的としています。

また、本コンクールに応募された取組事例は、現場の安全活動の取り組みに活用できるよう、「あんぜんプロジェクト」ホームページ上で継続的に公開します。

2 実施スケジュール

募集期間：平成23年11月15日～平成24年1月13日

投票期間：平成24年1月23日～2月24日

結果発表：平成24年3月下旬（予定）

3 取組事例の応募方法

「あんぜんプロジェクト」ホームページ上の「『見える』安全活動コンクール」特設ページから、申請書をダウンロードし、電子メールに添付して応募してください（メンタルヘルス対策も対象になります。）。

詳しくは下記 URL から「『見える』安全活動コンクール」特設ページをご覧ください。

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/index.html>

4 取組事例への投票方法

平成24年1月23日から、同じく「『見える』安全活動コンクール」特設ページ内の「応募作品」ページを通じて、誰でも簡単に投票できます。

（締め切り：平成24年2月24日）

「応募作品」ページ

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/list.html>

5 参考

あんぜんプロジェクト周知用リーフレット（第2版）